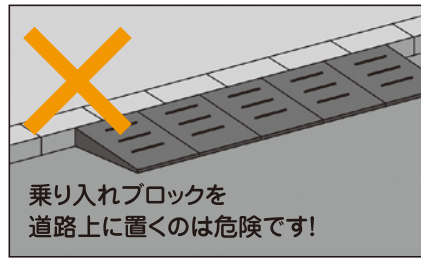




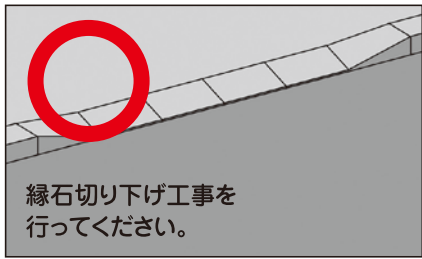
道路上に

乗り入れブロックなどを置かないでください

問まちづくり課 都市計画係 ☎(84)13332



乗り入れブロックを道路上に置くのは危険です!



縁石切り下げ工事を行ってください。

自宅の車庫や駐車場の出入口の前の道路上に乗り入れブロックなどを置く行為は、危険なため道路法により禁止されています。

お年寄りや子ども、体に障がいのある歩行者がつかまわずいたり、滑ったりしてけがをすることや、バイク・自転車の転倒事故の原因にもなり、このような事故が発生した場合には、乗り入れブロックなどを置いた方の責任も問われかねません。

●自宅の車庫や駐車場の出入口の段差を低くする必要がある場合

町道であれば道路管理者である町に事前に申請し、許可を得れば歩道や縁石を切り下げることができます。

※安全な通行が確保できるように乗り入れブロックなどは撤去し、切り下げ工事(自己負担)をお願いします



草木の適正管理をお願いします

問まちづくり課 都市計画係

☎(84)13332

私有地から道路上にはみ出した草木などは、子どもやお年寄りの通行、自転車などの運転の妨げになり、交通事故を引き起こす恐れがあります。



事故が発生した場合、草木などの所有者は管理責任を問われることがあります。所有地内の草木などの適正な管理をお願いします。



まつだ日和 「茶摘みの歌」

松田町長 本山博幸

若葉に風香る今日この頃、町民の皆さまにおかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

5月5日のこどもの日に合わせて、毎年恒例の若葉まつりが開催されます。今年もたくさんの方のこいのぼりが皆さまをお待ちしています。ぜひ、会場へお越しください。

さて皆さまは、「夏も近づく八十八夜」という日本の歌の題名はご存じでしょうか。知っている方は、ほぼ昭和生まれの方でしょう。答えは、「茶摘み」という日本の唱歌です。では、「八十八夜」は毎年いつになるかご存じでしょうか。答えは、立春から数えて88日目にあたる日とされています(毎年5月2日頃)。この時期は気候が安定し、霜の心配がなくなるため、農作業の本格的な始まりの目安とされており、特に、新茶の収穫が始まる時期でもあり、「八十八夜に摘んだ新茶を飲むと長生きできる」といわれるほど、縁起の良い日とされています。

また八十八夜には末広がりの「八」が2つあることから縁起が良いとされ、八十八夜に摘まれたお茶は「不老長寿の縁起物」として重宝されてきたようです。

現在、寄地区などで栽培されているお茶は、1923年(大正12年)に発生した関東大震災後に栽培が始まり、昨年は足柄茶100周年記念となる節目の年を迎えました。年々、高齢化と担い手不足が進み、足柄茶の振興が危ぶまれています。地元のお茶を知り、飲んでいただくことが何よりのサポートにもなりますので、地元の「歴史とお茶文化」が詰まった「足柄茶」を愛用願います。お茶農家の皆さま、毎年、本当にありがとうございます。皆さまも足柄茶を飲んで元氣にお過ごしください。